

特 集

ゲノム医学を 外科診療に活かす！

がん遺伝子パネル検査が保険適用されて4年が経つ。その重要性は認識されつつあるが、一般的に普及しているとは言いがたい。また、パネル検査を受けても治療に直結できるのは10%程度とも考えられている。一方で、膨大なデータが蓄積されつつあり、それに基づいた新たな知見も見出されるものと思う。今後は、医療の柱の一つになることが期待されている。

医療が新しい時代を迎える今、ゲノム医学をいかに通常の外科診療に活かしていくか、外科医の方々には本特集でぜひ知識を深めていただきたい。各論では各臓器癌におけるゲノム医療の現状と、その活用について解説していただいた。